

第5次総合計画がスタートします！

町では、令和8年度から15年度までのまちづくりの新たな指針となる「西会津町総合計画（第5次）」を策定するため、昨年2月から町民の皆さん25人による「総合計画検討会議」を設置し、検討作業を行ってきました。

10回にわたる会議や町民の皆さんからの意見公募、さらに町民懇談会などを経てまとまった計画案は、昨年12月に開かれた町議会定例会で議決されました。

今月号では、「西会津町総合計画（第5次）」の概要についてお知らせします。



総合計画検討会議の様子



総合計画とは

総合計画は、まちづくりの基本となる最上位の計画として位置付けられています。計画では、町が目指す8年後の将来像を掲げ、長期的なまちづくりの方向性を明らかにし、本計画に基づいてまちづくりを行っていきます。

総合計画の構成

総合計画は、「基本構想」「基本計画」「実施計画」の3段階で構成しており、それぞれの役割や期間については下記の通りです。
(3ページの図を参照)

◎基本構想

町の8年後の将来像とその実現のための基本的なまちづくりの方向性を示したものです。

◎基本計画

基本構想に基づき、町の将来像を実現していくためにまちづくりの各分野で実施していく取り組みを定めた計画。前期計画4年、後期計画4年で構成。

◎実施計画

基本計画に掲げられたまちづくりの取り組みを具体化するための計画。実施年度や事業内容、事業費を明らかにしたものです。3年間の計画で、毎年見直しを実施。



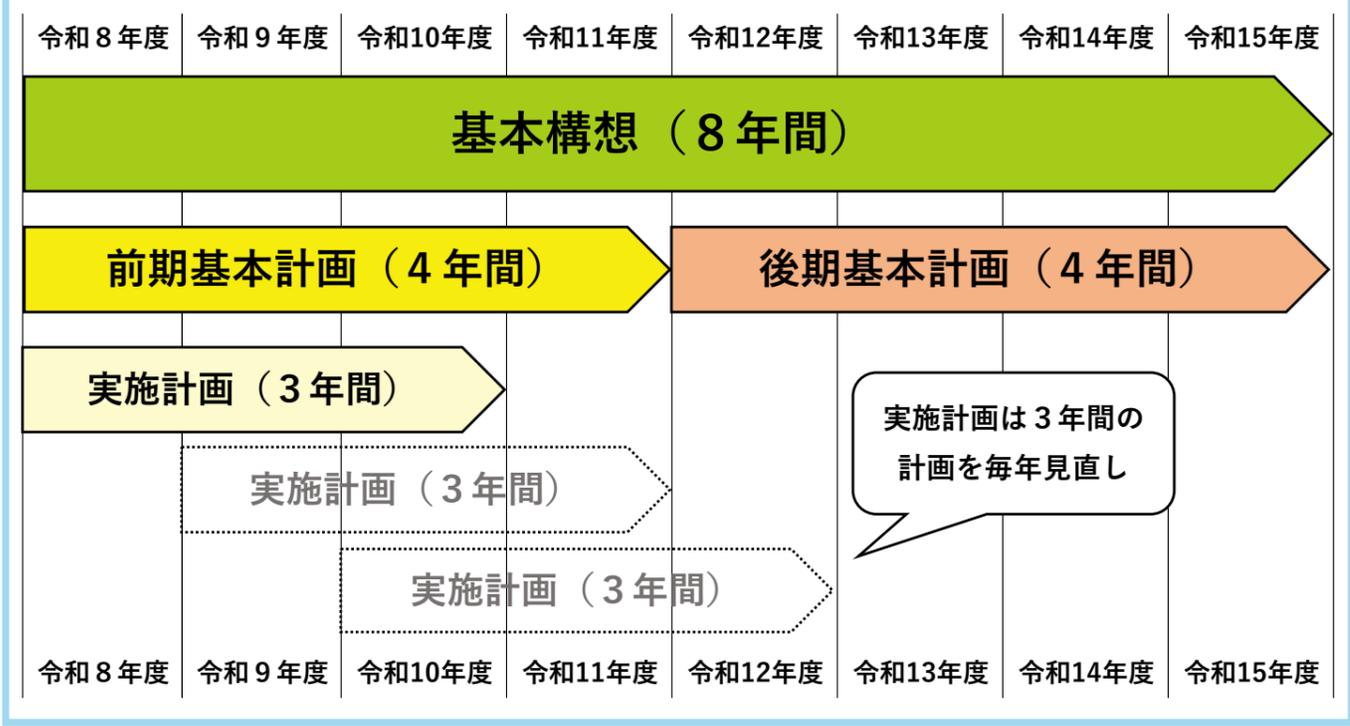
みんなで作った大切な未来への計画

策定の経過

- 令和6年7月
町職員による「総合計画策定プロジェクトチーム」を設置
- 9月
「西会津町民幸福度調査アンケート」を実施
- 令和7年2月
町民25人で組織する「総合計画検討会議」を設置。プロジェクトチームと連携しながら検討作業を開始
- ◎第1回検討会議
- 3月～7月
◎第2回～第7回（計7回）検討会議
- ◎「特別座談会」を開催
- 8月
◎第8回検討会議（素案の作成）
- 町総合政策審議会へ中間報告
- 9月
町議会へ中間報告
- 「意見公募」の実施
- 10月
町内5カ所で「総合計画づくりのための町民懇談会」を開催
- 11月
◎第9回検討会議（素案の見直し）
- 町総合政策審議会での審議・答申
- 12月
町議会定例会で審議・議決

第4次総合計画の評価・検証
第5次総合計画の検討・原案作成

西会津町総合計画（第5次）の計画期間



西会津町総合計画（第5次）の施策体系

詳細は P.6 をご覧ください

町の将来像

**未来を編む。幸せひろがる
日本の田舎、西会津町。**



人と人、自然と暮らし、過去と未来を丁寧につなぎ合わせ、自然の美しさや穏やかな空気感、そこに住む人々の温かさを感じ続けてもらえる町を目指します。

日常の忙しさから少し離れ、こころを満たす時間を過ごせる場所、それが西会津。

誰もが急ぎすぎることなく、生きることそのものの幸せを感じられ、どこか懐かしさや安心感を抱ける「日本の田舎」を目指します。

未来へ向かう まちづくりの方向性

共育の架け橋、
明日へのまちづくり

地域資源を
誇り・繋ぎ・育てる
まちづくり

健康で生涯
いきいきと暮らせる
多様性のまちづくり

暮らしを守り、
明日を彩るまちづくり

共生・協創・自主・自立
多彩に輝くまちづくり
※計画の推進に向けた方向性

SDGs



まちづくりのツボ (重点事項)

- 子育て・教育の充実
- 自然の恵み・農作物
- 担い手の確保・育成
- しごとづくり
- 健康増進
- 地域とのつながり
- 安心して暮らせる住環境の整備



まちづくりの分野

- ・子育て支援
- ・教育環境
- ・生涯学習
- ・スポーツ
- ・歴史・文化・芸術

- ・農林業
- ・商工業
- ・観光・交流
- ・移住・定住

- ・健康づくり
- ・医療
- ・高齢者福祉
- ・社会福祉
- ・コミュニティ

- ・雪対策
- ・生活・交通インフラ
- ・情報通信
- ・消防防災・安全対策
- ・自然・環境保全

- ・協働のまちづくり
- ・行財政運営
- ・新たなまちづくり

計画全体に取り入れた考え方
西会津町にとっての Well-being (ウェルビーイング)
「一人ひとりが幸せな暮らしを実現できる能力や環境があること」

具体的には、問題に直面したときに自分やまわりの人と一緒に取り組めること

Well-being (ウェルビーイング) とは・・・

「よい (Well)」と「状態 (Being)」を合わせた言葉で、「健康」や「幸福」と訳されます。身体的な健康、精神的な健康、社会的に良好な状態、これらすべてが満たされた状態にあることを意味する概念です。本計画の策定にあたっては、この「ウェルビーイング」を数値化した「西会津町 Well-being 指標」を活用しつつ、西会津町にとって「ウェルビーイング」とは、「一人ひとりが幸せな暮らしを実現できる能力・環境があること」（具体的には：問題に直面したときに自分やまわりの人と一緒に取り組めること）と定義し、計画全体に反映しています。

未来を編む 総合計画

佐藤会長と藤井アドバイザーが語る

町への思い



西会津町総合計画検討会議 会長
佐藤 健一さん

私が総合計画づくりへ参加したのは、夢や思いが織り込まれた「わくわく」するような町の未来を描く過程に携わりたいという思いがきっかけです。

検討会議では、たくさんのアイデアが生まれ、和やかで真剣な議論が重ねられました。検討委員・町職員・アドバイザー・事務局が「四位一体」となり、約1年間の熱心な検討の末に計画が策定されたことに安堵すると共に、計画づくりに携われたことに感謝しています。

この計画が皆さんの暮らしの指針となり、今後も「協働のまちづくり」が進むことを願っています。

私も町の未来に関心を寄せ、貢献できる役割を見出していきたいと考えています。

他の町にはない西会津町の良さは、住民の皆さんと役場の方々が集まり、話し合いながら町の計画をつくっているところにあります。少子化など、すぐには解決できない難しい問題もありますが、これまで大切にしてきた暮らしや地域の思いが、少しずつ形になっています。

民主主義は、時間も手間もかかるものです。それでも、立場の違いをこえて話し合い、町のこれからを一緒に考えてきました。その積み重ねが、今回の総合計画になりました。これから、この計画に“血を通わせる”活動が始まることを楽しみにしています。



総合計画策定アドバイザー
(西会津町最高デジタル責任者)
藤井 靖史さん

まちづくりのツボ (重点項目)

計画の前期4年間（令和8年度～11年度）に特に力を入れて押していく7項目



●子育て・教育の充実

地域全体が協力し、安心・安全な子育て環境のもとで世代を超えた多様な交流と学びを通じて、好奇心や広い視野を育む教育環境を充実させていきます。

●担い手の確保・育成

施策の総合的かつ複合的な展開により、あらゆる分野で不足している担い手の確保・育成を図っていきます。

●健康増進

健康寿命のさらなる延伸により町民一人ひとりの幸せな暮らしを実現するため、健康増進計画に基づき、「からだ」・「こころ」・「つながり」の健康による「さすけねえ輪」の健康づくりを推進します。



●自然の恵み・農作物

町の豊かな自然や米、ミネラル野菜、山菜などの自然の恵みや農作物の魅力を広め、安心して農業を行える自然と共存したまちづくりに取り組みます。

●しごとづくり

既存企業や農林業など地場産業への就業はもちろん、起業や継業、複業、テレワークなど近年の働き方の多様化に対応できるよう、関係課や関係団体と連携し必要な環境整備を行っていきます。

町内における新しい働き方のモデルを町内外に積極的に提案・発信することで、移住者だけでなく、町出身者の若い世代のUターンの促進につなげます。

●地域とのつながり

地域の行事や伝統を守り、誰もが互いを認め合い、気軽に交流できる環境づくりを進めます。



●安心して暮らせる住環境の整備

雪、予期せぬ災害、働く場、移動手段、地域の間関係など、町で安心・安全に暮らし続けるために必要な要素を複合的な施策の展開により強化していきます。